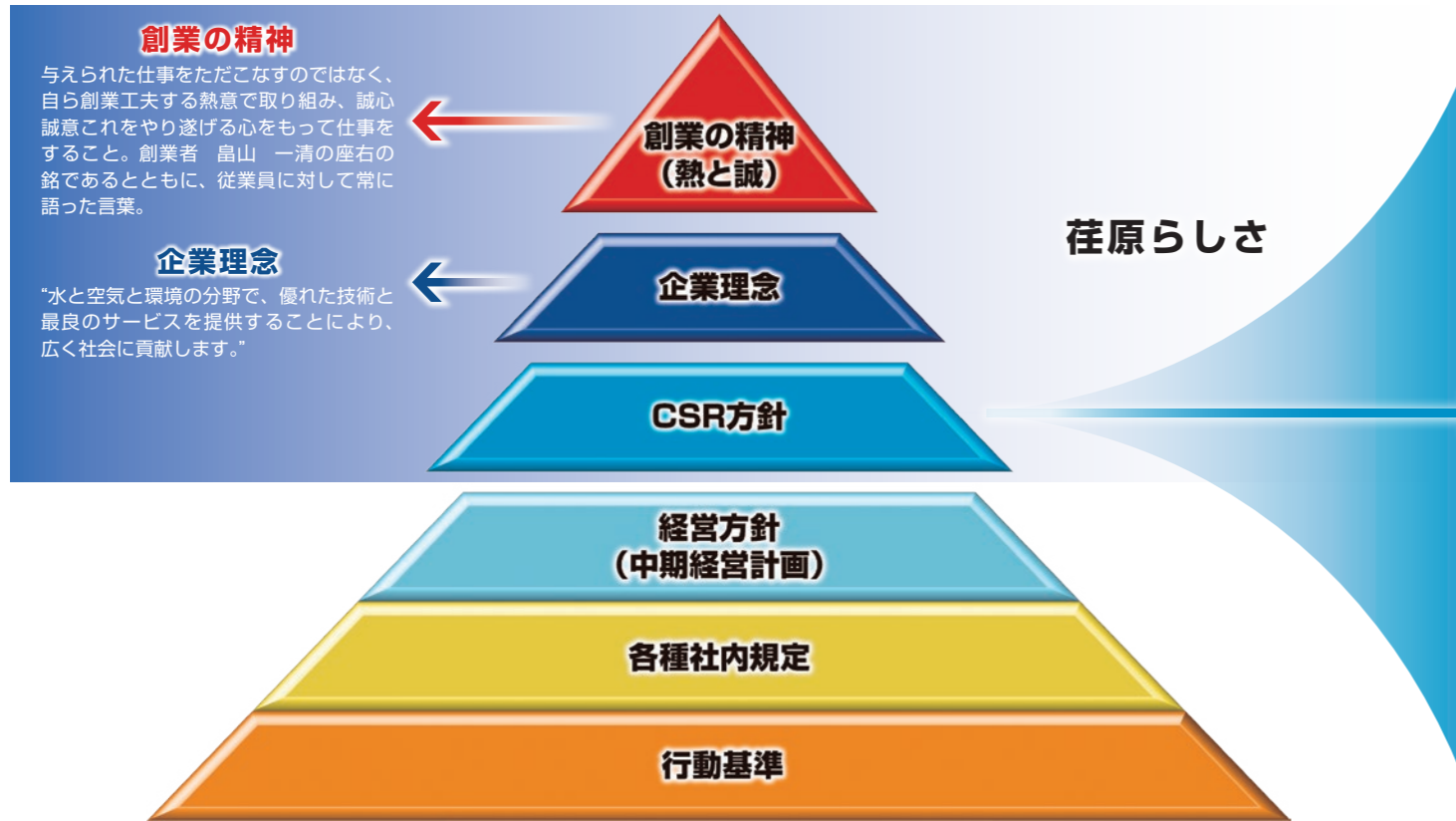


# 荏原グループの企業倫理

## 荏原グループ企業倫理の枠組み

荏原グループは、2012年11月に創業100周年を迎えた際に、次の100年に向けて企業倫理の枠組みを体系化しました。「荏原らしさ」と呼んでいる荏原グループの普遍的な価値観・使命・社会的責任を具現化するために、変化する機会やリスクに応じて経営方針を策定し、役員と従業員一人ひとりが行動基準と各種社内規定に則って行動し、技術・製品・サービスを通じて社会課題の解決に貢献します。



## 荏原らしさ

創業の精神、企業理念及びCSR方針の三層からなる、企業倫理の枠組みの上位3つは、会社及び従業員の行動様式を特徴づけていることから、「荏原らしさ」と呼んでいます。荏原らしさは、荏原グループのアイデンティティを示すものです。創業の精神「熱と誠」は荏原グループの価値観です。常に熱意と誠意をもってステークホルダーと接します。企業理念は荏原グループの使命を表しています。CSR方針は使命を全うするにあたって、すべての業務を高い倫理観に基づいて実行し、ステークホルダーと良好な信頼関係を築くことを定めています。荏原グループCSR方針は国連・グローバル・コンパクトやISO26000といったグローバル基準を包含しています。

CSR方針に従い、水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを熱意と誠意をもって提供することが荏原らしさです。

## 荏原らしさ浸透活動

「荏原らしさ」をグループ内に浸透させることを目的として、海外グループ会社を中心に「荏原らしさ研修」を2014年度から2015年度に行いました。<sup>\*1</sup>(一部延期により、2016年度に実施。)

経営層と管理職層を対象として行い、「荏原らしさ」に即した経営を行うとともに、経営者・管理職が荏原らしさを率先垂範することにより、一般従業員にも理解と実践を広げ、荏原グループ共通のアイデンティティの共有を図りました。



Ebara Pumps Malaysia Sdn. Bhd. の荏原らしさ研修

\*1 対象会社数:32社(ヨーロッパ:4社 中国・台湾:11社 東南アジア:11社 北・南米:4社 中東:1社 オーストラリア:1社) 受講人数:1,750名

## 荏原グループCSR方針とグローバル基準との関係

荏原グループCSR方針	国連・グローバル・コンパクト 4分野	ISO26000 7原則	ISO26000 7中核主題	本誌 ページ
	1. 倫理観; 私たちは、高い倫理観をもって事業を行います。		倫理的行動 法支配尊重 国際行動規範尊重	ガバナンス
① 誇り; 社会・産業・くらしを支えることが存在意義であると自覚します。				10
② 製品とサービス; 創意工夫し、お客様に喜ばれる技術、製品、サービスを提供します。			消費者課題	統合報告
③ 競争; 公正かつ自由な競争の下に活動します。	腐敗防止		公正な事業慣行	10
④ 環境; 地球環境の改善に努めます。	環境		環境	15~16
2. 信頼関係; 私たちは、大切な皆様との信頼関係を築きます。		ステークホルダーの利害尊重		02
⑤ 熱意と誠意; 熱意と誠意をもって接します。				02,05
⑥ 人権と多様性; 人権と多様性を尊重します。	人権	人権の尊重	人権	11, 13~14
⑦ 情報開示; 透明性のある情報開示によって相互理解に努めます。		説明責任 透明性		02
⑧ 職場環境; 安心・安全な働きやすい職場をつくります。	労働		労働慣行	11~14
⑨ コミュニケーション; 質の高いコミュニケーションを通じ、互いに誇りをもてる企業を目指します。			コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	17

## 経営方針・各種社内規定・行動基準

<b>経営方針</b>	荏原らしさに基づいて達成すべき中期的な経営の方針と目標を具体的に表したものです。 <a href="#">E-Plan 2016 &gt;&gt;&gt;</a>
<b>各種社内規定</b>	会社を組織として機能させるために各部署及び担当者の役割分担と権限を明確にして、各組織単位が守らなければならないルールを明文化したものです。
<b>行動基準</b>	役員と従業員が業務を遂行する際に社会の一員として順守しなければならないルールを明文化したものです。 <a href="#">荏原グループ行動基準全文 &gt;&gt;&gt;</a>